

第1回 政策企画会議会議概要

開催日	2019年6月3日（月曜日）
議題	民間事業者等との包括的な連携の推進に係る考え方について
担当部署	企画部企画課

会議の概要

○区が民間事業者等と包括連携協定を締結し、同協定に基づく連携を推進していくに当たって、区としての基本的な考え方を確認する。

（確認事項）

- ・民間事業者等との包括的な連携の推進に係る考え方
- ・今後の進め方

主な意見

○スタートアップという理念について、もっと前向きな要件を入れるべきではないか。

○この資料の表現では、包括連携協定を結ぶ段階で全ての連携事業を具体化する必要があるように読み取れる。今後の可能性が期待できる連携項目についても広く協議していく考え方に立つべきではないか。

今後の方向性・結論

○連携実施の要件等を整理し、今後のスケジュールに基づき進めていく。

令和元年（2019年）6月3日
政策企画会議資料
企画部企画課

民間事業者等との包括的な連携の推進に係る考え方について

区は、区民サービスの向上と区の一層の活性化に資することを目的として、民間事業者と幅広い領域における包括連携協定を締結し、双方の強みを活かした事業を実施してきたところである。

今後、以下の考え方に基づき民間事業者等との包括的な連携を一層推進していくとともに、各領域における個別の連携協定についてもこの考え方を準用する。

1 連携推進の目的

包括的な連携は、民間事業者等のアイデア、ノウハウ、ネットワーク等の資源を最大限に活用し、社会経済情勢の変化や高度化・多様化する区民ニーズに応じた地域課題の解決や区民生活の向上が期待できる。

また、連携の効果として、区内で多彩なサービスが展開され、区のイメージが向上することによってまちの価値が向上し、民間事業者等の投資や雇用の創出を呼び込み、更なる民間事業者等の新たな参入につながるなど、中長期的にもまちの活性化や住みやすいまちづくりに資する好循環を生み出していくものである。

2 連携の理念

連携の推進に当たって、区と民間事業者等は、次に掲げる理念を共有していく。

- (1) 一緒にスタートアップ
常に新たな視点で柔軟に課題解決の可能性を検討し、中野というフィールドで区と民間事業者等が共に始めていくまち
- (2) みんなで高めるまちの魅力と価値
まちの魅力や価値を高める取り組みを共に生み出していくまち
- (3) シビックプライドの醸成
中野に対して区民が愛着や誇りをもてるまち

3 連携推進の視点

連携の推進に当たって、区は、次に掲げる視点をもって取り組んでいく。

- (1) 積極的な連携構築（Welcome）
理念を共有する民間事業者等とは誰とでも連携する姿勢

- (2) 対話に基づく互恵的な連携 (Win-Win)
真摯かつ丁寧な対話による信頼関係の構築と双方にメリットを生み出す連携
- (3) 相互検証で進化する連携 (Progress)
連携の効果を相互に検証し区民ニーズの変化に応じた新たな価値の創造

4 区の役割

区と民間事業者等が連携の理念を共有していくためには、双方が連携の主体として適切な役割を果たすことが重要となる。区は、「信頼・影響力」「連携実施の場」「多彩な領域」などの強みを活かし、民間事業者等との連携に当たっては主に以下の役割を担っていく。

- (1) 連携の一主体として担う役割
 - ① 地域課題の提示
 - ② 行政情報の提供
 - ③ 連携実施の場の提供
 - ④ 周知広報
- (2) 行政として担う役割
 - ① 連携の構築及び実施における公平性や透明性の確保
 - ② 民間事業者等との役割分担及び責任所在の明確化

5 連携実施の要件

民間事業者等の社会貢献活動等の実績や体制を勘案し、連携協定に基づく連携事業が確実に実施できる見込みであることに加えて、民間事業者等（事業内容を含む）が次のいずれにも該当しないこと。

- (1) 法令等や公序良俗に反する行為を行ったもの又はそのおそれのあるもの
- (2) 政治活動や宗教活動を助長するおそれのあるもの
- (3) 法令等により、区の契約の相手方としないこととしているもの
- (4) その他連携の対象としてふさわしくないもの

6 今後のスケジュール

令和元年 6月	考え方決定、庁議報告
同年 7月	令和元年第2回定例会（総務委員会）報告
令和2年度～	自治基本条例及び区民参加のあり方の検討に合わせて官民連携指針を策定

(参考) 中野区と民間事業者等との連携の考え方

